

世田谷区内に名所旧跡を訪ねる散策(2022.5.28)

駒澤大学部会 畑中正彰(三井物産OB)

夏の気配を感じる5月28日(土)、長かったコロナのインターバルから3年ぶりの来日となった駒澤大学の交換留学生を迎え、グループ交流の第1弾として世田谷区内の名所旧跡を訪ねる半日ツアーを実施しました。

この半日散策は駒澤大学が所在する世田谷区への理解を深めて欲しいという願いと三井V-Netの会員との親睦を図ってもらうことを目的にしています。

今年は、交換留学生6人、会員11名、合計17名の皆さんに参加いただきました。

訪問先は、「招き猫」が有名で彦根藩井伊家の菩提寺である豪徳寺、地域の鎮守社として1,000年以上の歴史があり秋の奉納相撲で有名な世田谷八幡宮、そして井伊家の所領であった世田谷の代官であった大場家の邸宅跡でした。

当日午後1時に東急田園都市線駒沢大学駅の集合でしたが、何と午後1時には全員集合し、これには幹事はじめ古いメンバーが大感激するなか、三軒茶屋に向かいました。

三軒茶屋で世田谷線一日乗車券を購入し、第一目的地である豪徳寺の最寄り駅である宮の坂に向かいました。豪徳寺は世田谷区にある曹洞宗のお寺で、「招き猫」発祥の地と言われています。

1633年に井伊家の菩提寺となり現在に至っていますが、幕末に暗殺された大老井伊直弼もこの地に眠っています。

今回参加してくれた留学生の皆さんは、まず参道から入ってお寺の大きさに驚き、井伊家の墓所、三重塔、招福殿、仏殿等をゆっくり見て回り。途中実際にお線香をあげたりしましたが、招福殿近辺にお供えされている大小数多くの招き猫には特に感激してくれたようで、皆さんスマホで撮影していました。豪徳寺拝観後、宮の坂駅を挟んで豪徳寺と反対側にある世田谷八幡宮を訪ねました。

ここも歴史ある古い神社ですが、毎年9月の秋季大祭行われる奉納相撲は江戸三相撲として知られています。

神社内にある土俵は未整備のものですが、今年の留学生も土俵の上で模擬相撲をやってくれ、全員で土俵を体験しました。その後、世田谷線の沿線沿いにしばらく歩き、HANAKOとかTVに時たま出る隠れた人気の和菓子店を訪問し、留学生の皆さんにどら焼きと大福もちを味わってもらいました。フィンランドからの留学生には、甘い味付けの小豆が不思議だったようです。

その後、ちょっとブレイクを取り、帰路上町で下車して世田谷代官屋敷跡(表門と主屋:国指定重要文化財、屋敷全体:東京都指定史跡、彦根藩世田谷領の代官を世襲した大場家の役宅)を訪問して3年ぶりの世田谷散策は終了しました。

今年は一か所にゆっくりと時間が取れたこともあり、留学生と参加会員の皆様との交流も深まったのではと思います。

今回、この半日イベントに変わらぬご助力を頂きました会員の皆様にはこの場を借りて御礼申し上げます。

以上

世田谷散策写真(撮影:佐藤 貴美雄氏)



豪徳寺山門前にて



豪徳寺境内にて



豪徳寺境内にて



豪徳寺境内にて



豪徳寺にて



世田谷八幡宮にて



世田谷代官屋敷前にて